

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 能力探求スクール ジーニアスロボ平手校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高いサービスの提供。	子どもたちの興味を引き出すために、「キャラクターから学ぶ人生学」、「心理学」、「世界の謎に迫る」などの専門知識を広げる活動から、毎週月曜日は「プログラミング」、月2回は「UNIBO」にて動画編集を学んでいる。	プログラミングの活動にて、基礎学習後は各個人の習熟度に合わせた内容にしていく予定。
2	自分の「好き」や「得意」などの個性を発揮できる子どもたちの居場所。	例としては、施設にギター、ピアノ等の楽器があり、子どもたちにとって、習い事をやったことがなくても、身近な環境に楽器があることでデイサービスでの練習のみで自分の「得意」につながっている。	「好き」や「得意」を発表する場として、ジーニアスロボ平手校主催の夏祭りの開催を行っている。自分の成果が認められる成功体験を子どもたちに積んでほしい。
3	学校では取得できない社会性を身に付けられることができる。	施設において、小学3年生から、高校3年生までの幅広い利用者層がいる中で、「新しく入った子」や「年下の子」には優しくする流れがあり、同年代としか接する機会がない学校の環境と違い、様々な関わり方が経験できる。	施設内において、今より子どもたちが自分の夢や進路について相談しあえる環境を作りたい。将来の選択肢の話は、子どもたち同士の会話がより説得力があり、憧れる上級生の話であれば、想像しやすく夢をもって聞くことができる。そのためには、中高生に働きかける進路アプローチが必要不可欠。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の開催について	現状、進路説明会等は行っているが、保護者同士の集まれる企画や父母会が行えていない。	アンケートを取り、保護者の要望や意見を踏まえ、父母会の開催を行ってきたい。